

2200日の物語 ～芝根の名のもとに～

第41話 (R04.02.10)

～ 新入学説明会のお話 ～

みなさん、こんにちは。本日は、お忙しい中、新入学説明会に参加していただき、誠にありがとうございます。

お子様の入学を前にして、「どのように成長するかな。」というわくわくす感と「大丈夫かな。」というドキドキ感が交互に訪れているかも知れません。

入学説明会を通して、わくわくが倍になり、ドキドキが少しでも少なくなれば良いと考えています。

(感染症対策のため、ここから先は読み原稿を配付する形にしました)

まず、芝根小の前身は、明治6年の10月に開校しました。今年の10月で150年目を迎える伝統のある学校です。

また、芝根地区は、豊富な文化財と名所がたくさん存在します。これらのことを教育に活用したいと考えています。詳細は、学校要覧で確認して下さい。

次に、大切にしたいつながりのお話をします。

1つめは、自分自身のつながりです。自分のことが大好きになってほしいと思います。そのために、いろいろなことに頑張りたいと思います。過去の頑張りが現在の自分の自信になります。頑張った経験が、苦しいときの支えになり、未来への挑戦とつながっていきます。

2つめは、他者とのつながりです。まわりの人が大好きであることも、大切です。友達と認め合う関係をつくって欲しいと思います。友達のよい部分を見つけることも素敵ですね。しかし、一緒に生活していれば意見が違ったときも必ず訪れます。謝ったり歩み寄ったりして、関係を戻せることが、すてきな友達とのつながりをつくります。

3つめは、学校は、家庭や地域としっかりつながりたいと思います。子供たちがよい人生を歩んで欲しいと、みんな願っています。だからこそ、苦しいときも連携しながら、ともに頑張りましょう。

最後に、芝根小の教育についてお話しします。今年度の学校経営スローガンは「夢叶える冒険者たち、すてきな旅に出かけよう」でした。

すてきな旅は3つあります。今年度の実施したことをお話しします。

1つめは、わくわくする学びの旅です。学習では、わくわくしながら取り組めるように仕掛けます。

例えば、国語「くじらぐも」では、くじらぐもにのった子供たちをイメージした大きな絵を描きました。夢のある話ですよね。

また、生活「朝顔を育てよう」では、朝顔の栽培、観察をします。最後に朝顔の蔓を使って、素敵ナリースづくりをしました。

他にも、音楽で3文字や5文字のリズムうちをしたり、外国語活動でハロウィンを題材にして学んだりしました。このような学習であれば、わくわくしますよね。

2つめは、ぼかぼかする心の旅です。あたたかい眼差しと柔らかい言動で、学校を包み込みたいと考えています。

例えば、1年生を迎える会で、各学年からプレゼントをしました。1年生は、大喜びでした。

縦割り集会では、1年生から6年生までが、一緒に遊びます。遊びを通して、上級生の優しさを感じ取ります。また、月に1度、ボランティア団体の方々が、読み聞かせをしてくれます。読書は、人の心を大きく成長させます。

残念ながら、学校生活は、もやもやすることもあります。このようなとき、一人で悩まずに、SOSサインが出せるように伝えています。今年度は、児童委員がちょっとした劇をして、考えるきっかけをつくりました。その後、各クラスで考えました。ピンチの時に、誰かに助けを求められる子に育って欲しいと思います。

最後に、ぐんぐん伸びる元気な旅です。

まず、秋の遠足では、きちんとした姿勢で、しっかり先生の話を受けるようになりました。また、冒険の岩でも果敢に挑戦するたくましい姿が印象的でした。

運動会の表現「よっちょれ」の様子です。1・2年生合同での取り組みでした。感動を呼ぶ活動でした。

元気な生活をするには、基本的な生活習慣の確立は重要です。そのために、ぐんまの子供のための50のルールを活用して、分かりやすく子どもに伝え、成長を促しています。

これで、私の話は終わります。

